

## 平成29年度第4回三重県総合教育会議 議事録（概要）

- 1 日 時 平成29年9月13日(水) 10:00～11:25
- 2 場 所 三重県勤労者福祉会館 5階 職員研修センター第2教室
- 3 出席者 知事、教育長、教育委員3名
- 4 議 題 ・平成29年度全国学力・学習状況調査結果の分析と今後の取組について
- 5 主な意見 ○：教育長・教育委員、●：知事

<論点1：県教育委員会は市町教育委員会と連携してどのように取り組むべきか>

- 調査結果は長いスパンで見れば改善傾向にあるので、結果に一喜一憂することなく、足元を固めるため取組を徹底することが大切である。個々の学校で自身の課題を把握し、全校的に取り組む必要がある。特に、取組が形式的なものに陥らないように質や中身を求めていく必要がある。

現場に近い市町教育委員会が現場の教員を指導しきれているのか。校長のリーダーシップに任せるだけでなく、市町や県の教育委員会が直接教員にメッセージを伝えることも検討すべきである。

県、市町、校長、現場の教員、家庭のベクトルが合わせられれば、今回落ち込んだ小学校の学力を上げることはできると思う。

また、現場では教員が大量退職していくことになるので、ベテランの教員が持つノウハウをしっかりと継承していくことが必要である。

- 県と市町が危機感や課題を共有することが重要である。結果が出ないのは、やるべきことをやっていないか、やり方が間違っているかである。来年までに取り組むことが非常に多い。やるべきことを選択と集中を行ったうえで、一人ひとりの教員の意識を高め、PDCAを徹底することが必要である。企業では幹部に任せず全社員に直接伝える場も持っている。

企業を例にとれば、社員本人はやるべきことをやっているつもりでもやらなくてよいことを結構やっている。

- 中学校、特に3年生のこの3年間の学力の伸びは評価すべきである。小学校に目を向けて高める取組をすれば全体として向上する。そのためには、市町単位、学校単位での調査結果の詳細な分析を行い、各校で問題点を把握したうえで、市町及び県の指導主事等により、授業の改善につなげていく必要がある。また、教員の増員や教員が授業に集中できない要因を排除するような取組も必要になってくる。

- 調査結果を詳細に分析し、市町単位、学校単位で課題を洗い出したうえで、市町教育委員会と共有し、連携しながら支援に取り組みたい。

- 校長による授業の見回りなどの取組を質の面で向上することに、教員の負

担を軽減しながら取り組んでいく必要がある。また、私や教育長が、市町長へ取組へのコミットメントをお願いしていくことが重要である。

<論点2：家庭・地域での取組を拡充し、大人・地域の関わりを深めていくため、どのように進めていくべきか>

- 本県は地域包括ケアシステムなど小学校区単位での取組が始まっている。このような学校区単位での仕組みを活用して地域が子どもたちを育てることが重要である。例えば、地域の力を借りた補充学習や読み聞かせなどが期待できる。地域に活用できる人材は地域にたくさんいると思うので、学校と地域を結ぶ人材を学校に配置することが県の支援策として有効である。学校と地域が共通の目標をもって取り組んでいるところはうまくいっている。
- スマホ時間の改善に取り組むにあたっては、保護者が（幼い頃からITに親しんできた）デジタルネイティブ世代であることを前提に対策を考える必要がある。目標を持って学習に取り組んでいる子どもは、テスト期間中はスマホを保護者に預けるなどスマホ時間の管理ができています。地域の活用については、地域の人たちが自然と学校に入っていけるような機会を増やすことが重要である。
- 土日の家庭学習の状況が改善されていない。学習時間量が学力の安定と最も相関が強く、家庭環境の格差（SES）もカバーし得る。土日に家庭学習を1時間確保することは部活動云々に関係なく可能であり、関係者を挙げて取り組むべきである。スマホについては、例えば（夜10時までには電源を切る）テノオフ運動など県民向けの具体的なメッセージを出して雰囲気づくりを行うとともに、子どもたち自身が自分のスマホ利用をコントロールできるようにすることが求められる。特に中学生においては、今の学習が自分の未来とつながっていることを認識できること、当事者性を育てることが学力向上の鍵となる。
- 地域人材を活用した取組は学力やコミュニケーション力の向上に役立つので、好事例を研究したい。子どもたちの自尊感情は高まっているので、やればできるという自信を家庭学習での探究的な学習につなげていくことが大切である。
- 家庭、地域のことが課題であり続けているのは、学校から家庭・地域に働きかけていく際に誰が働きかけるのかという責任の所在が不明確になっていること、教員は家庭や地域への依頼の仕方がうまくないこと（もっと甘えてよい）、生活習慣シートなど「やっているつもり」になっていること、が原因ではないか。

以上